

東北大

# きょうかん

発行  
東北大学教育学部  
関東地区同窓会

事務局  
〒187-0022  
東京都小平市  
上水本町 6-5-1-304  
(小林 昭文方)

電話・FAX 042-325-2819  
zelkoba304aki@kyf.biglobe.ne.jp

題字：江川 堯

ご挨拶  
「きょうかん」、更なる前進を  
—人生充実の一翼を担って—

東北大学教育学部関東地区同窓会会長  
星 永揚 (教育社会 66 年卒)

108周年校友会関東交流会に参加して  
東北大学教育学部関東地区同窓会副会長  
堀籠 英夫 (教育社会 61 年卒)

第十三期もスタートして早くも一年。この間、国内外で色々な出来事があり心休まらない日々が続いていますが、皆様にはご健勝で過ごされることと思います。

昨秋十一月九日の総会は、恒例の麗澤大学東京研究センターを会場に、本部長上埜高志副学部長、仙台支部の渡邊宣隆支部長・軍司啓事務局長・關口隆元支部長をご来賓に迎え総勢三十八名での開催でした。

上埜副学部長の記念講演は、「教育学部の現状と課題—ワールドクラスの大学を目指して」と題し、「国立大学改革プラン」を踏まえた教育学部の国際化や諸課題への取組み状況の報告がありました。母校の奮闘ぶりには卒業生の一員として頼もしく大いに元気づけられました。

会場を「三国一」に移しての懇親会は和気藹々、至福のひと時でした。今回から、遠距離会員を考慮し昼開催に変更しましたが好評でした。

関東に先立ち、十一月三日ホテル JALシティ仙台で行われた仙台支部総会・懇親会には星が参加し、仙台支部の皆様と懇談し交流を深めて参りました。



講師の上埜副学部長と渡邊仙台支部長を囲んで  
(第 13 回総会後の懇親会・「三国一」にて)

年明けの四月、仙台での教育学部同窓会理事会には家根顧問と星、同月東京での校友会関東支部打合せ会には堀籠副会長と星が出席しました。七月の東北大学関東校友会には江川・野原・長谷川・堀籠・家根の各氏と星が参加、他学部同窓生と交流を深めました。同月、学生会館で十三期第一回役員会を実施し、活動の確認と今後の計画を審議しました。十三期も後半の一年に入ります。

恒例の校友会関東交流会が去る七月二十六日多数の参加者の下、開催されました。来年からは参加者が事前に予定が立てられるように、開催日を七月の第四日曜日に仮設定しておくとの事です。

「きょうかん」更なる前進を—人生充実の一翼を担って—の表題実現のため役員一同全力を尽くす決意です。皆様のご理解と一層のご協力をお願いいたします。

「災害と人間の心理」のお話で印象深かった事は、「災害遭遇時に人間はリスク情報を得、既得の知識や経験に基づいて情報にバイアスをかけて判断し、行動を起こす」傾向にあるとの事。常に災害への備えを学習しておき、災害遭遇時に適切なバイアスにより無意識に行動を起こせるように備えておくことの重要性を説いておられました。

また、田所教授の「災害ロボットの挑戦」では最新の ROBOTICS 分野の紹介があり、特に自立型 ROBOTICS 技術分野における先生の素晴らしい研究が印象的でした。ROBOTICS と AI が融合し

今後ますます人間に代わっているような分野に利用されるようになることが期待されます（平和利用分野での発展であってほしいと願っています）。

今回講演者の両教授とも、本学（東北大学）出身者でないこと（昨年の講演者：宇宙ロボット工学の吉田教授も東工大（MIT）出身）、歴史のある国立大学はともすれば閉鎖的と思われるがちですが私にとっては驚きでした。私の学生時代は大先生のお弟子さんがその研究室の教授のポストを引き継ぎ、伝統を継承しておられたように思います。昨今東北大学でも分野によっては他学出身者が人種・国籍・性別・年齢などを超えたスタッフを抱え OUTSTANDING な研究をやっておられるようになり、INTERNATIONAL な大学としての発展が期待されるような気がします。欧米の一流企業では DIVER-SITY（多様性の受容）の出来てる組織が成長・発展してると言われておりますが、欧米の一流と言われている所を見れば大学も例外ではなさそうです。

里見総長のお話から、独立行政法人化後の国立大学運営の現状をお聞きし、文科省からの予算配分にも業績主義（大学の世界評価ランキング等）が取り入れられるようになってくるのではないかとこの印象を受けました。東北大学は世界の大学別評価（→EUI の評価）ランキングでは 166 位（昨年）、日本では 100 位以内に

は東大と京大だけ、200 位以内にはそれに加え東工大、阪大、東北大の五校だけと言うさびしい結果、学術分野で世界の評価を上げたいと願う文科省の焦りも顕著です。

以下は里見総長の話ではありません、国立大学運営の責任者としての悩みではないではないかと推察し勝手に空気を読んでみました。

「国立大学の入学・卒業式には国旗掲揚が望ましい（国のこうした表現は一般に「指示」と理解されています）」、さらにも「教育・人文社会科学系の学部・大学院の存続を見直し、組織の廃止や社会的要請の高い分野への転換に積極的に取り組むよう検討を要望」されるなど、予算配分をバックに国の圧力が見られます、今後国立大学はどうなっていくのでしょうか。

同窓の皆さんはどう思われますか。大学や院では文系・理系問わず様々な体験活動を通じて文化や社会の多様性を理解することが重要で、文系・理系にまたがる分野横断型の発想で今後発生する様々な課題を解決できる人材を育成する必要がありますか？と私は考えますが…。



## 「同窓会本部・仙台支部から」

「同窓会と在学生のコラボへ事業の期待」



東北大学教育学部同窓会会長  
教育学部研究科長・教育学部長  
高橋 満 教育学部博士課程 81 年生

新たに研究科長・学部長に就任しました。就任早々、大きな課題となっているのが、教育研究組織の改革です。

ご承知のように、文科省は、社会的要請をふまえ人文社会科学の廃止を含めた教育研究組織の再編をすすめるようにとの通知をだしています。タイミングとしては、非常に厳しい状況のなかで改革をすすめる必要があります。研究科・学部の伝統をふまえ、その継承とともに、より魅力的な組織をつくるのが求められています。

現在、①教育情報学研究所・教育部との組織統合、②教育研究の高度化・国際化を飛躍的に高めるための教育コースの新設、③「先端教育研究実践センター」（仮称）の設置などを柱とした改革案を検討しています。とくに、センターでは、「持続可能な社会のための教育研究」、「震災復興への教育心理学的支援研究」などの教育的課題に、研究をとおして貢献することのできる拠点を整備したいと考えています。この改革に

ついては、さらに具体的にすすんだ段階で、改めてご報告したいと思えます。

ここでは、同窓会の協力を得てすすめている取り組みについて報告いたします。同窓会の長年の懸案事項の一つは、若い世代の卒業生の同窓会活動への参加が低調であるということではないかと思えます。仕事が多忙なライフコースの時期であり、それもやむをえない面もありますが、そのなかでもなんとか参加を広げたいと考えています。そのためには、まず、在学生中に同窓会活動を知り、なんらかの関わりをもつたという経験が大切です。同窓会には、これまでも「海外学会発表渡航費援助事業」「博士論文執筆援助事業」などの事業を通して学生の修学支援をいただいていたしましたが、新しい試みとして、今年度は、在学生組織と同窓会のコラボによる「OB・OG会」の開催、同窓会主催によるキャリア支援セミナー、「進路選択 いろはの い！」を開催していただいています。これまで同窓会との接点が薄かった卒業

生の方たちにも参加していただいています。在学生にとつて就職は一番関心の高い課題であり、今第一線で働いている先輩の話には大きな関心があったようです。こうした取り組みを地道に積み重ねるなかで、若い世代の参加も広がるのではないかと期待しています。

最後になりますが、教育学研究科・教育学部の学生の支援、また、改革の取り組みに対しても、今後とも協力と支援をお願いいたします。



寒波、熱波、ゲリラ豪雨……。世界中に気候変動が起きている。地震、津波、噴火……。地球変動も、不可解な事件や事故……。人間社会にも大きな変動が起きている。国政に於いても大きな変動が起きつつあるように思われてならない。これらの報道を新聞やテレビで見ると閉塞感、無力感に苛まれるのは私だけだろうか。

変動と変革は大きく違う。かつてない困難からはかつてない革新が生まれ、かつてない革新からはかつてない飛躍が生まれるというのが、困難からだけ発想するだけではその場凌ぎという感がする。可能性から発想することが大事であるという。仙台

支部の改革は小さな可能性から始めたいと、今三点の案件を考えている。

一つは、地下鉄東西線が十二月に開通することから総会・懇親会会場を思い出多い川内の東北大学構内に変更するという事で、これは既に役員会の了承を得ている。このことは古くからの参加者の交通の便を図ると共に若い世代を呼び込む引き水になるのではないかと考えている。

二つ目はすでに入学時に同窓会員になっている現役の学生が気楽に支部の会合に参加できる環境を整備することである。本部同窓会も事務局の神谷先生のご尽力で同窓会主催のOB・OGと学生との進路に関する懇談会や同窓会活動の周知を目的としたキャリア支援セミナーを企画しており、支部としても積極的に動き出す時期と捉えている。そこで、学生を会費なしの支部準会員とできないか支部事務局に検討依頼した。

三つ目はあくまでも私案の段階だが支部基金で支援中の学生に研究中のテーマ等を支部会議の中で発表する機会を作れないかという事である。そのためには大学への支援のあり方を検討したいと考えている。

最後に、経営の一道を極め続けた松下幸之助氏の言葉を引用します。「執念のある者は可能性から発想し、

執念のない者は困難から発想する。」



近年、私たちの生活が様々な面で「便利」になってきましたが、一方で、いつの間にか無くなってきた「モノ」の「ころ」もたくさんあります。これまで身近にあつて大事な役割を果たしてきた「地縁関係」、「血縁関係」等も、急速に希薄化しています。

このような状況にあつて、わが国においては将来的に総人口の減少化、少子高齢化、長寿化、核家族（独り家族も含む）化等の加速化が予測され、既に現実化されていることを考えると、今後の福祉、医療、防犯、災害の面だけを考えても、一層進化した「便利さ」の開発が求められることになるでしょう。

しかし、このような状況にあつて、改めて今、人間同士や他の「モノ」との「絆」や「つながり」に対する関心が強まっているのには何か理由があるのではないのでしょうか。この点を、これからはしっかりと認識していくことが重要になってきていると思います。

乱暴な推測ですが、前述した理由の一つに、これまで「ある種の便利

さ」をあまりにも安易に求め、手にしてきた代償に私達は大切な「モノ」の「ころ」を犠牲にしたり、失ってきたことに、今、気づかされ始めているのではないかと思います。もしそうだとすれば、これからのことを考えると、ますます進化・発展する科学技術が提供してくれる「便利さ」について、その「光と影」に関心を抱き、「本当の便利さとは何か、本当の生活の豊かさとは何か」といった、これは「言うは易く行うは難し」の類の大変難しい問題ですが、そのような問題について、一人一人が、それぞれの生活の中で考え、結果を行動に転化していく「賢さと勇氣」が求められているのではないかと思っています。



小生の名前を見て、「あれっ、こういう人いたっけ」と思うかもしれない。そうです改名しました。というより、名前をいただいたという方が当たっているかもしれない。本名は教育行政専攻の菊地敬です。

昭和44年卒業、縁あつて東京書籍（株）に入社、定年まであと数年残して出家。元々、生家は臨済宗の寺ではあつたが、三男ということ、

それまで、寺とは全く無縁の生活を  
送っていたが、後継者の兄の急死に  
より状況が急変、57歳にして修行に  
でることになった。それで名前を「敬  
宗」と改名。正式な僧名は「洪雲敬  
宗」である。小生の戒名でもある。

寺の住職になるには一定の修行を  
経なければ資格がもらえない。資格  
がないと葬式ができない。その点で  
は資格のない医者が診療ができない  
のと同じではある。もちろん、対象  
が死者と生者の違いはあるが。禅  
宗の修行はかなり厳しいものがある。  
しかし人間、崖っ淵に立つと強くな  
るのであるか。何とか三年で資格を  
得ることができた。60歳だった。

資格を得ても仏教の素養がないこ  
とを痛感。京都にある浄土宗の大学  
である佛教大学仏教学科三年に編入  
通信制で仏教学を学んだ。その縁も  
あり、東北大学大学院文学研究科前  
期二年課程に入学、昨年、三年で修  
了し学位を授与された。卒業式では  
孫の付き添いとも思ったのだろう  
父兄席に案内された。なにしろ坊主  
頭の爺さんだから間違うのも当然だ  
ろう。式では二階の父兄席には付き  
添いの妻がいた。

今年古稀を迎える年齢になったが  
様々の「縁」で結ばれた今日の自分  
があることを思うとき、「おかげさ

ま」という言葉がもっている意味の  
深さをこの頃しみじみと感じている。

## 同窓生の声

第十三回総会の出欠返事の葉書に

添えられた同窓生のお言葉を掲載い  
たしました。(お名前の敬称は省略)

なお、懇親会の楽しい雰囲気を感じ  
取っていただくため、随所に当日  
のスナップ写真を挿入いたしました。

大曾根 良衛

小書庫にこもり甲斐駒を一日中眺  
めながら読書で過ごしています。会  
の発展を願っています。

(教育哲学'55年卒 山梨県甲府市在住)

若林 滋

役員の皆様の熱意により、関東地  
区同窓会が維持されていることに感  
謝し、心より敬意を表します。

会員各位のご健勝を祈念します。

(教育哲学'59年卒 北海道札幌市在住)

青柳 進

平成二十五年二月十一日に亡くな  
りました。生前は大変お世話になり  
ありがとうございました。

(青柳由美子様よりお知らせいた  
だきました。)

(教育哲学'61年卒 栃木県宇都宮市在住)

### 【事務局より】

ご愁傷様でした。衷心よりご冥福  
をお祈りいたします。

木村 祐也

八十五歳になりました。なんとか  
生きていますが、歩行困難につき出  
席できません。ご盛会を祈ります。

私は平成二年に埼玉県の県立高校長  
を最後に定年退職しました。

故林竹二先生の弟子の一人でした。

笹川 智恵子

案内状の件、お騒わがせいたしま  
した。仙台(松島)からの出席予定  
者は宮下(旧姓中里)美恵子さん(教  
育哲学'69年卒)です。

盛会になるようがんばりましょう!

(教育哲学'69年卒 埼玉県狭山市在住)

古橋 康子

いつもご無沙汰で申し訳ありませ  
ん。今回はなつかしい顔にお会い  
できることを期待して出席させてい  
だきます。よろしくお願いいたしま  
す。

(教育哲学'69年卒 神奈川県横須賀市在住)

鈴木 重男

やや時間を持って余す感もあります  
が、自由に気ままな生活をしていま  
す。義務感を伴わないで本が読める  
ことが至福の時となっています。

会への欠席、いつも申し訳ございま  
せん。幹事様(事務局様)のお骨折  
りに感謝申し上げます。

会の盛会を祈念いたしております。

(教育哲学'70年卒 静岡県浜松市在住)

木村 俊二

当日は所用のため欠席させていた  
だきます。現在、都内私立大学で教  
職に係る仕事を担当させていただ  
いております。

(教育哲学'72年卒 東京都西東京市在住)

木戸 裕

いただきました「会報」、身近な



上塾副学部長と仙台支部關口顧問



雰囲気は勿論、料理も酒も最高！

関係者に配布させていただきました。その中の一人でも出席してもらえればと思っています。大変お世話になっていますがどうかよろしく願い申し上げます。

(教育哲学74年卒 東京都板橋区在住)

木山 喜博

相変わらず人生の諸問題と格闘中です。来年三月には東京より転出予定です。

(教育哲学78年卒 静岡県掛川市在住)

家根 敏明

ご盛会を祈ります。ご盛会を祈ります。天皇と同年代の傘寿。非戦を願うこと切。

(教育社会57年卒 東京都世田谷区在住)

石塚 米子

同窓会のご案内有難うございました。折角ですが、体調が良くありませんので欠席させていただきます。会が盛会であらんことを。

(教育社会61年卒 神奈川県平塚市在住)

杉浦 洋一

以前からの予定があり、今回は欠席させていただきます。ご盛会を祈念いたします。

(教育社会63年卒 東京都立川市在住)

西村 孝雄

盛会をお祈りいたします。返事が遅くなって申し訳ございません。現在、社会福祉士・精神保健福祉士を取得(六十歳過ぎてからの挑戦)し、自宅で「西村孝雄SW(ソーシャルワーク)ルーム」を五年前に開設し、後見人等の仕事をボチボチやっています。

(教育社会63年卒 東京都中野区在住)

吾田 壹明

ひさしぶりに講演をお聞きいたしたく参加することに致しました。認知行動療法：等に関心を持っています。

(教育社会63年卒 埼玉県狭山市在住)

佐藤 門哉

幹事の皆様ご準備ご苦労さまです。「きょうかん」第十二号拝受しました。

(教育社会64年卒 東京都練馬区在住)

佐久間 孝正

幹事の労、ご苦労様です。当日少し遅れますがよろしく願います。

(教育社会67年卒 東京都西東京市在住)

千條 武

他に所用があり欠席いたします。

ご盛会をお祈りしております。

(教育社会67年卒 千葉県松戸市在住)

巽 駒太郎

星会長、ご苦労様です。残念ながら先約があり出席できません。お許しください。

(教育社会67年卒 神奈川県横浜市在住)

薄木 正雄

本年は春先に大腸ガン、その後虫垂ガン、最後に肺ガンとなり一カ月近く入院しております。現在も家で療養生活しております。

(教育社会69年卒 東京都町田市在住)

菅野 正

定年からずっと週一回映画館で映

画を観る。週二回はプールで泳いでいます。現在69歳(ロックンロール)です！(前回も同じことを書いたかも……)

(教育社会69年卒 東京都文京区在住)

野島 節子

今回は出席出来ず。皆様にお目にかかるのを楽しみにいたしております。

(教育社会69年卒 千葉県千葉市在住)

北館 博人

会社を退職して二年半になります。が、色々多忙な日々を過ごしています。先輩方とお会いする日を楽しみにしておりますが、今回は所用があり欠席します。盛会をお祈りしています。

(教育社会72年卒 千葉県浦安市在住)

佐々木 昭美

三喜人生(働く喜び、学ぶ喜び、遊ぶ喜び)を楽しく過ごしています。①五十八歳で専門家プラットフォーラムの会社を設立して代表として働いています。

②日本ベンチャー学会・組織学会に加えて、四月より国際浮世絵学会に入り交流中。

③過去十年間、ヨーロッパ旅行を毎

年。今年は、ニューヨーク視察と  
ハワイ家族旅行。

(教育社会73年卒 埼玉県さいたま市在住)

佐々木 博

この八月に六十五歳になりました。  
そして九月末退職しました。四十一年半にわたる会社生活を終えました。当日はすでに先約があり出席できません。

ご盛会を心より祈念しております。

(教育社会73年卒 千葉県鎌ヶ谷市在住)

津吹 茂

ご案内ありがとうございます。欠席させていただきますが、ご盛会をお祈りしています。

(教育社会74年卒 神奈川県相模原市在住)

斎藤 嘉明

欠席です。住所が中央区に変わりました。

ました。

(教育社会75年卒 東京都中央区在住)

文屋 弘之・和恵

事務局ご苦勞様です。当方、ともに元気にすごしております。都合により欠席いたしますが、盛会をお祈りいたします。

(教育社会75年卒 千葉県四街道市在住)

井腰 伯子

とうとう今年で定年を迎え、栃木県の教員を退職となりました。しかし、悲しいかな、いえ、まだ社会の役に立てそうで、再度フルタイムで教員として働かせていただいております。

(教育社会76年卒 栃木県佐野市在住)

菅谷 清

関東地区同窓会総会に初めて出席させていただきます。

昭和五十一年四月より茨城県立高等学校にて勤務し、平成二十六年三月三十一日をもって定年退職いたしました。この間、本同窓会はずっと気にかけておりましたが、忙しさにかまけて出席することが出来ませんでした。十一月九日を楽しみにしております。

(教育社会76年卒 茨城県古河市在住)

岩田 真

お世話になります。久しぶりに皆様とお会いできることを楽しみにしております。

よろしくお願いたします。

(教育社会79年卒 埼玉県さいたま市在住)

小泉 信三

いつも欠席で申し訳ありません。現在、那須塩原市東那須野にある地区公民館の館長をしております。日曜日にも行事があります。

皆様によりしくお伝えください。

(教育社会79年卒 栃木県那須塩原市在住)

鈴木 英一

ご案内をいただきありがとうございます。四月から仙台へ転勤となります。人生初の単身赴任しております。

当日、仕事の都合で帰省できず欠席いたします。

盛会を祈念いたしております。

(教育社会88年卒 埼玉県さいたま市在住)

高嶋 晃・眞美

欠席です。住所が変わりましたので変更よろしくお願いたします。

(教育社会84年卒 奥様は教育行政卒)

千葉県千葉市在住)

赤間 啓介

久しぶりに会員の皆さんにお会いできるのを楽しみにしております。

(教育行政55年卒 栃木県小山市在住)

荒木 廣

欠席いたします。総会・懇親会の盛会を祈念いたします。

(教育行政58年卒 東京都世田谷区在住)

川嶋 春夫

欠席、体調不良。

(教育行政61年卒 東京都武蔵野市在住)

新井 雄啓

皆様のご健勝と会の盛会を祈念します。

(教育行政63年卒 埼玉県越生町在住)

青木 進

ご苦勞様です。次回は出席します。盛会になりますよう祈念致します。

阿部副会長によりしくお伝え願います。

(教育行政69年卒 千葉県鎌ヶ谷市在住)

阪内 宏一

当日先約あり、出席できません。仕事は辞めてサンデー毎日の日々です。

(教育行政69年卒 東京都清瀬市在住)

千葉県千葉市在住)



「思い出話」に花が咲きました

荻澤 薫

先月、我が県の同窓会「山梨県宮城野会」が発足しました。学部・学年はそれぞれでしたが、五十人程出席し、仙台の思い出話に花が咲いていました。

この会も次回は出席して、皆様と旧交を温めさせて頂きたいと思っています。

(教育行政71年卒 山梨県笛吹市在住)

銭谷 眞美

現在、東京国立博物館に勤務しております。

ご盛会をお祈りしております。

(教育行政73年卒 千葉県松戸市在住)

廣池 幹堂

欠席させていただきます。昭和四十九年卒業です。

(教育行政74年卒 千葉県柏市在住)

大桃 敏行

この度、関東地区同窓会に入会させて頂いていただきました。宜しくお祈り致します。

出張のため出席できずに申し訳ございません。ご盛会をお祈りいたします。

(教育行政77年卒 東京都文京区在住)

浅野 良一

現在、兵庫教育大学教職大学院に勤務しております。

ご盛会をお祈りいたします。

(教育行政78年卒 大阪府東大阪市在住)

高木 宏幸

ご盛会をご祈念申し上げます。都合つかず出席できませんが、次回は出席したいと思っております。

皆様のご健勝、ご活躍をお祈りいたします。

(教育行政78年卒 埼玉県越谷市在住)

横田 正美

現在、千葉県の高等学校の教員としております。大学卒業後、教育部とは疎遠でしたが、今回初めて出席させていただきますのでよろしくお祈りいたします。

(教育行政79年卒 千葉県松戸市在住)

中島 洋明

今年度、県立伊勢崎商業高校に転勤いたしました。初めての専門高校勤務に学ぶことの多い日々を送っています。何よりの「気づき」は、「教員はほとんどが普通科出身者なのだなあ」ということ(とくに義務教育)。当然のことでしょうが、今回の転勤

で最も強く感じているところです。同窓会の盛会を祈念しております。

(教育行政85年卒 群馬県太田市在住)

長沼 真吾

文部科学省が大学の国際化を支援する「スーパードグローバル大学」37校に母校が選出された。報道などで東北大学の活躍を聞くと胸が躍る。

(教育行政88年卒 東京都八王子市在住)

小川 慎介

お世話役ありがとうございます。

仕事の都合で出席できません。会の盛況を心より祈念致しております。皆様に宜しくお伝えください。

(教育行政89年卒 神奈川県相模原市在住)

大村 実



和やかで充実のひと時

卒業後六十年余、厚生省、私立大学にて教鞭をとる。教員・福祉の二刀流にて社会奉仕をしてきました。

著書「障害者の構想」にて、障害者の社会復帰に必要な基本的課題を提示しておく。障害者のノーマライゼーションも小生の海外視察の基本的理念であった。

老化による体調不全感のため、欠席いたします。

(教育心理54年卒 東京都中野区在住)

江川 亮

小林さん、事務局をご担当いただきご苦勞様です。この同窓会発足当初に、いろいろご協力いただいたことを想い出しております。

来月当日を楽しみにしております。

(教育心理55年卒 神奈川県横浜市在住)

奥泉 英夫

「きょうかん」第12号送付ありがとうございました。卒業して五十二年経過しましたが、会報により母校の実像と同窓生の活躍する姿を知ることができるとは、大変嬉しく、いつも感謝しております。

今では、社会的活動としては、地元刑務所や少年院へ時々出かけて話し相手になる面接をボランティアで続けるだけになりました。「あと何

年」と考えないで、これからも続けたいと思います。

(教育心理61年卒 群馬県前橋市在住)

位田 尚隆

恐縮ですが欠席いたします。

(教育心理62年卒 神奈川県藤沢市在住)

小竹 里子

役員の皆様ご苦勞様です。教育学部で学んだことを教師として生かすことができました。また、たくさんのお誘いと出会えていい思い出になっています。出席できない体なのでお誘いを遠慮します。会員の皆様のご健康ご多幸を祈ります。

(教育心理67年卒 栃木県足利市在住)

【事務局より】

了解いたしました。お元気で



昼開催でも盛り上がりました

ご下さい。

菅田 美紀子

残念ながら欠席いたします。

昭和四十二年一月十五日教育心理学科の卒論の発表会でした。十五人弱の同期生の一人一人の発表の写真とタイトルのメモをアルバムで見ても自分の当時の卒業論文を見たくありません。今それはどこにあるのでしょうか。宮川知彰先生の指導により「学齢成熟に関する考察」―五歳児の入学は可能か―という副題です。問い合わせ先を教えてください。

(教育心理67年卒 千葉県柏市在住)

黒須 俊夫

盛会を祈ります。当日は、スベインでの社会情報学国際会議に出席することにしています。

(教育心理・院70年卒 群馬県前橋市在住)

寺島 洋平・順子

小林様、同窓会役員として活躍のご様子、家内(山上順子)ともども承知していました。お疲れ様ですが、このまま活躍ください。

総会出欠の件ですが、既に別の用事が決まっていますので欠席となります。来年以降ということでもよろしく

お願いいたします。

(教育心理75年卒 千葉県習志野市在住)

吉村 葉子

いつもお世話になっております。今回は出席したいと思っていたのですが、生憎、前日から出かける予定が入っておりまして、出席出来ません。宜しくお願い致します。

(教育心理76年卒 埼玉県所沢市在住)

寺島 ひろ子

いつもお世話になります。ご盛会をお祈りしております。

(教育心理78年卒 埼玉県所沢市在住)

山森 伸子

一九七四年四月入学。四十年が経ちました。「49P」(昭和49年教育)懐かしいです。米軍の建物も一部残っている時代でした。

(教育心理78年卒 神奈川県川崎市在住)

務台 明彦・英美

欠席いたします新潟市に引越しました。よろしく願います。

(教育心理80年卒 新潟県新潟市在住)

小滝 威

当日、所用のため、欠席とさせていただきます。

ご盛会をお祈りいたします。

(教育心理85年卒 栃木県大田原市在住)

田口 有理

関東地区同窓会事務局の方々には大変お世話になります。私の名前の漢字を有理由に訂正下さい。よろしく願います。

(教育心理85年卒 群馬県前橋市在住)

【事務局より】

お名前の誤記、大変失礼いたしました。お詫び申し上げ訂正させていただきます。

吉田 恵子

早いもので、卒業してから三十年の歳月が流れ、気が付けば半世紀、齢を重ねております。

四月に、高校現場から山梨県総合教育センターに異動して、研究開発部に配属になりました。現在、「学校



おなじみの「大先輩と後輩」年の差はいくつでしょう？



現場におけるネットトラブルといじめの防止」に取り組んでいます。同窓会の盛況ならびに皆様のご活躍を祈念いたしております。

(教育心理'86年卒 山梨県甲府市在住)

庄司 光徳

寄る年波、体の動きもままならず、会費だけは送らせていただきますが、出来れば終身会費ということで今回で終わりにしていただければと思います。

(心身障害学'56年卒 長野県麻績村在住)

【事務局より】

了解いたしました。お元気で過ごしてください。

小原 弘三

お知らせ有難うございます。寄る年波(78歳)にかたず、このところ関節炎の再発しきりで寒さに向かう折、はてさてというところです。

又々ノーベル賞受賞さわががまびかしいですが、我らが田中さん、こないだのTVでは頭も白くなってこれまででの苦労がしのべれます。かつての記念講演なつかしく思い出しています。血の一滴での病気診断も現実のものとなっているようです。

(心身障害学'57年卒 東京都多摩市在住)

高橋 哲

傘寿になりました。狭窄症が原因の腰痛に悩まされています。盛会を祈ります。

(心身障害学'57年卒 静岡県伊豆の国市在住)

鈴木 貞夫

喜寿を過ぎ腰痛を抱えています。久しぶりに東京へ出かけて見ようと思っています。

(心身障害学'60年卒 神奈川県横浜市在住)

板垣 幸治

会員の皆様のご健勝を期待します。

(心身障害学'62年卒 神奈川県平塚市在住)

大沼 直紀

欠席いたします。

盛会を祈念いたします。

(心身障害学'65年卒 茨城県つくば市在住)

高橋 良彰

二〇一一年大正大学を退職して平穩だったのは一年だけで、二〇一二年肺ガン手術、二〇一三年転移肺ガン手術、二〇一四年間質性肺炎と胸水併発二か月入院、最近やっとなしで歩けるようになりましたが遠出は無理で欠席いたします。

思い出すのは、江川さん河田さんが中心となって同窓会を創設した頃

です。熱気にあふれ準備し、大勢参加しました。また何かの機会で大勢集まることを期待しております。

(心身障害学'65年卒 埼玉県新座市在住)

落合 俊郎

関東から中国地方(広島大学)に十四年いまして、大阪の新設大学(大和大学)に勤務することになりました。初めての私立大学で戸惑うことも多く、皆様のご指導を仰ぎたいと思います。よろしくお願いいたします。関西の同窓会の動向等もお教えいただければ幸いです。

(心身障害学'75年卒 大阪府大阪市在住)

阿部 善衛

私用があり欠席します。小林さんの顔見たかったのですが残念です。

(心身欠陥学'75年卒 神奈川県秦野市在住)

出口 利定

幹事様、別件の用ありまして出席できません。皆様方によりしくお伝え下さい。

盛会を祈つてます。

(心身障害学・院'79年卒 東京都練馬区在住)

細淵 富夫

所用のため、欠席いたします。四月より埼玉大教育学部長になり、

学部改革に追われています。皆様によりしく。

(心身障害学'79年卒 埼玉県さいたま市在住)

北島 善夫

千葉大学に赴任して二十二年目になりました。昨年度から付属特別支援学校の校長を兼務し、忙しい日々を送っています。子ども達は可愛いです。

(心身障害学'85年卒 千葉県習志野市在住)

久家 康雄

六年間の栃木県総合教育センター勤務を終え、今市特別支援学校で教諭として勤務しています。大学時代の思い出は、セツルメントを通し子どもとかかわったこと、宮田光雄聖書研究会に参加しキリスト教信仰の基礎を学び得たことです。これらのことが原点となって今の自分がある



東北大学ブルーグラス「ハムモンズ」有志の演奏

ことを覚えていきます。

(心身障害者 88 年卒 栃木県矢板市在住)

**佐藤 邦男**

今回で同窓会を退会させて頂き、去年虚血性貧血で倒れてから外出も思うにまかせません。齢八十三歳になり、見通しも芳しくありませんのでよろしく。これまでのご交誼感謝します。

とに角曲がり角に来つつある日本、九条を守ることが罪に問われることのないよう、若者が再び戦争の惨禍にひきこまれることのないよう祈っています。

(学校教育 54 年卒 埼玉県さいたま市在住)

**【事務局より】**

ご事情了解いたしました。手続きをさせていただきます。お手続きをお元気で経過してください。



「ハムモンズ」のお二人を囲んで

**堀内 純子**

いつも「きょうかん」を送って下さり、ありがとうございます。私は東京から疎開して宮城に行き、学生時代と卒業して宮城県内で教職に十一年つき、結婚して現住所にて生活しています。関東には友達もあまりありません。卒業してあまり年月がたち、忘れそうになりますので「きょうかん」でつながりが持てそうです。私の知っている限りでは、女同級生一名、後輩一名います。乱筆乱文で失礼しました。よろしく。(学校教育 54 年卒 山梨県富士吉田市在住)

**榎本 孝之**

小林様、ご案内頂きありがとうございます。父、榎本孝之でございますが、昨年平成二十五年七月三日に八十五歳で永眠いたしました。生前に賜りましたご交誼を深謝いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

(学校教育 55 年卒 千葉県千葉市在住)

～長女、榎本有子様よりご連絡あり～

**【事務局より】**

誠に愁傷様でした。ご冥福を心からお祈りいたします。

**菊地 明**

この生涯学習の時代に、まず身近な同窓生が育んでいる珠玉(自らの人生経験など)をみなさんに披露していただけるのは最高の楽しみです。この至福を、総会や会合時、会報紙上でも更に広げて開陳していただいて交流を深めていきたいものです。

(学校教育 55 年卒 東京都東大和市在住)

**渡辺 健郎**

ご連絡ありがとうございます。当日所用あり欠席させていただきました。ご参集の皆様によりしくお伝え下さい。横浜国大に事務局をおいている応用行動分析学による実践研究の日本行動研究会に顔を出す程度で大過なく過ごしております。

(学校教育 56 年卒 神奈川県横須賀市在住)

**篠 (那須) 博久**

他の同窓会と重なったので残念ながら欠席いたします。

(学校教育 57 年卒 埼玉県戸田市在住)

**加藤 万喜子**

定年退職後、高齢者福祉に係るボランティア活動に携わり、東京都高齢者保健福祉計画作成委員会・調布市高齢者福祉推進協議会委員を担当しました。現在は、地域包括支援センター・応報協力員・社会福祉協議会

友愛訪問員・すぎもり地区協議会総務担当役員等をお引き受けしております。ご参集の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

(学校教育 60 年卒 東京都調布市在住)

**高橋 睦人**

一九九七年に都立高校を定年退職、その後私立高校で講師をしてきましたが、こちらも二〇一三年に終わりを付けました。今日まで私を育てくれた仙台の街を思い出を辿りながら歩き回りたいと思います。

(学校教育 60 年卒 東京都杉並区在住)

**村井 綴子**

ご案内いただきありがとうございます。当日、都合が悪くて行かれませんが、ごめんなさい。次回を楽しみにしております。

ご盛会をお祈り申し上げます。

(学校教育 60 年卒 茨城県竜ヶ崎市在住)

**永井 勝利**

残念ながら出席できません。会費の発展をお祈りいたします。

(学校教育 61 年卒 東京都立川市在住)

**石崎 謙二**

毎日が健康でバランスの良い生活を願って週三回スポーツジムに通っています。「一握りの想いは風を追うことに勝る」という格言の通り、十分の睡眠と趣味のピアノで今「浜辺の歌・変奏曲」(成田為三作曲)を練習しております。

(学校教育62年卒 埼玉県坂戸市在住)

渡辺 成男

スケッチ旅行と重なってしまいましたので、欠席です。盛会でありましたことを祈っています。

(学校教育63年卒埼玉県さいたま市在住)

後藤 光

目下、東北大学高度イノベーション博士人財育成ユニット、人財開発主幹、キャリア支援室長として、ほぼ毎週新幹線通勤(仙台市内ホテル泊)を実施しています。

(学校教育64年卒 神奈川県藤沢市在住)

丹野 光穂

諸般の都合により平成二十六年十一月一日付けをもって退会いたします。これまでのご交誼ありがとうございます。ございました。

【事務局より】  
了解いたしました。手続きをさせていただきます。お元気で過ごしてください。

渡辺 登美子

「きょうかん」お送りいただきありがとうございます。楽しく読ませていただいております。総会欠席ですみません。盛会祈ります。

(学校教育64年卒 神奈川県横浜市在住)

伊藤 育子

現在、静岡県議会議員三期目です。静岡県議会百十三代目の副議長になりましたが、女性初ということで新しく新しい扉を開くことができました。側面から教育を創っていく仕事ととらえてがんばっています。

(学校教育66年卒 静岡県島田市在住)

横館 厚太

ご案内有難うございます。ブルークラスの演奏も楽しみです。

(学校教育67年卒 東京都北区在住)

石森 ミネ子

小林様、先日は新聞を届けていただき誠にありがとうございます。いつもご無沙汰ばかりしております。



締めは星重昭氏の尺八を伴奏に

だが、今回は出席させていただきません。よろしく願っています。

(学校教育68年卒 東京都墨田区在住)

星 重昭

前回はカゼで叶わず、今回初参加となります。昨秋、思いがけず仙台支部同窓会35回の記念会に参加(お祝いかけつけ)を弟子達とでき感激でした。会長様や鬼氏との再会を楽しみにしております。新しい出会いがあれば幸いです。よろしくご指導願います。

(学校教育69年卒 神奈川県横浜市在住)

昭和28年、当時の学生部が、大学としてのアイデンティティを求める学生の要望を受け公募。応募作の中

から野田秀氏(法学部)作詞「青葉もゆるこのみちのく」が一位となり、以後、学生歌として歌われ今日に至る。作曲は阿座上竹四氏(工学部)。

学生歌「青葉もゆるこのみちのく」

作詞 野田 秀・作曲 阿座上竹四

一 青葉もゆる このみちのく

今ここに はらからわれら

力もて歌う 平和の讃歌

われらこそ われらこそ 国のいしづえ

理想ある 生命は常にうるわし

さらば 生さん

友よ 生さん

ああ 東北大 ああ 東北大

二 萩のかおる このみやぎの

今ここに 集いしわれら

愛もて求むる 真理のしるべ

われらこそ われらこそ 学部のはこり

歴史ある 伝統は常に若し

さらば 伸びん

友よ 伸びん

ああ 東北大 ああ 東北大

三 朝鳥なく ひるせ川

今ここに 安らうわれら

心もて語る 自由の行く手

われらこそ われらこそ 世界のかなめ

未来ある 若者は常に強し

さらば 行かん

友よ 行かん

ああ 東北大 ああ 東北大

学生歌「青葉もゆるこのみちのく」の制定経緯(東北大学史料館参照)

## 事務局ノートから

(一) 第十三期役員 (〇印新任)

(次の方々が今期のお世話役です)

会長 星 永揚 (社会'66)

副会長 堀籠 英夫 (社会'61)

阿部 孝 (行政'69)

事務局長 小林 昭文 (哲学'76)

幹事 田沢 良介 (心障'62)

〇横館 厚太 (学校'67)

〇石森ミネ子 (学校'68)

小玉 幸彦 (社会'68)

小熊 順子 (心理'69)

笹川智恵子 (哲学'69)

徳田 英明 (心理'69)

木戸 裕 (哲学'74)

〇細淵 富夫 (心障'79)

長沼 真吾 (行政'88)

〇小林 巖 (心障'92)

菊谷 邦雄 (社会'60)

高橋 敏行 (心障'62)

江川 亮 (心理'55)

大曾根良衛 (哲学'55)

菊地 明 (学校'55)

小林幸一郎 (社会'55)

越河 六郎 (心理'57)

家根 敏明 (社会'57)

荒木 廣 (行政'58)

ご支援・ご協力のほどよろしく  
お願いいたします。

## (二) 恩師の訃報

「沼田 裕之先生ご逝去」

教育哲学のご出身で、関東地区同窓会の会員でもある沼田裕之先生(東北大学名誉教授)は、平成二十七年四月八日、ご逝去されました。

先生のご遺言にしたがい家族葬のみ執り行われたそうです。先生はご家族に、弔問等は一切辞退するようにといい残されたそうです。

沼田先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。(木戸 裕 哲学'74)

## (三) 教育学部の近況あれこれ

東北大学教育学部は、昭和二十四年五月、宮城師範学校(青年師範を含む)を包摂し、義務教育の教員養成を担う部局として創設されたのがスタートでした。昭和二十八年には大学院教育学科を設置、その後、昭和四十年に学校教育学科の宮城教育

大学への分離独立、昭和四十八年には教育学部を含む文系四学部が川内地区に移転、附属大学教育開放センター設置等の変遷を経て今日に至ります。

近年は、国立大学法人化に伴う改革の動きに合わせ、「東北大学スーパーグローバル大学構想」実現に向けた一翼を担い奮闘中です。

基本理念には、「教育に関する学術研究の推進、成果の学際的・総合的見地からの教授、高度な研究能力・専門知識・技能を備えた人材の養成、教育学の継承と創造的発展への寄与」とあります。そして、①グローバルリーダー育成のための教育改革、②世界を牽引する最高水準の研究への挑戦、③東北大学復興アクション

による支援及び新プロジェクトの開拓を重点戦略に挙げています。「震災子ども支援室」による震災遺児・孤児及び里親支援、「教育の視点からの復興支援」等は社会的にも注目されています。

心配なのは、文科省がこの六月、国立大学宛てに出した通知です。「教員養成・人文社会学系のリストラを求める」ともとられる内容だけに、教育学部卒業生としては今後注視していく必要があります。

## 編集後記

▼梅雨時西日本で渇水、八月各地で猛暑記録塗り替え、九月台風豪雨の甚大被害。なお続く箱根山、阿蘇山噴火警戒。自然災害の恐ろしさとともに人的関与が事態の進展に大きな影響を及ぼすことも明らかに。予測、初動、その後の対応で瞬時に求められる適正な判断。▼イギリスで開催中のラグビーワールドカップで日本代表は前々回優勝の南アも倒し三勝、世界を驚かす。指揮官は豪州の日系エディ・ジョーンズ。明確な目標提示に選手が納得、過酷なトレーニング、最善の戦法の選択など、先の災害発生時の三つの判断と同様の力が十五人のプレーヤーに確実に育ったのを見る。評定河原でラグビーボールを追いかけていた頃には夢のまた夢。▼本部同窓会長高橋満先生のお話に「非常に厳しい状況の中で」三つの改革案。同窓生としてコース新設、センター設置など新たな取組に大きな期待。同時に教育情報学の学生として、教育学研究科への組織統合という現実も。▼事務局宛返信に沢山の温かいお言葉感謝。新たに連絡取れた同期生も。会員拡大にどうぞよろしくご協力を。(76卒 小林)



川内キャンパスの教育学部棟  
(最寄駅 地下鉄東西線「川内駅」)